

交遊抄

ざっと四十
年前になるう
か。ドイツ・
ミュンヘンで
暮らす機会を
が、日本の出国者でたま

得た私は、そこで現関西
学院大学法学部教授の青
島雅夫さんと出会った。
年齢、性格も異なるが不
思議とウマがあっ
た。本場のビール
が二人のきずなを
「一生もん」に。

が、双方学生の身
で金はない。散髪
代惜しさにお互い
が散髪屋になり酒
代をねん出。互い
の虎刈り頭がけっ
ころ酒のさかなに
なった。

ミュンヘンの二人

福 田 督

は衝撃だった。

帰国後、彼が就
職した会社の労組
は左翼が主導。そ
の民主化の闘いに
労組委員長として
多大な辛酸を味わ
いながらも、民主
化と企業再建に成
功。取締役、米国
法人支配人を経て

現職に。一緒に見た東ベ

人間が失ってはならな
い誠実さ、優しさ、童心
等々が彼の中にすべてあ
る。昨夏、夫婦四人で宮
島の老舗旅館に投宿し、
旧交を温めた。

得難きは一生の友。私

日本レーザー社長の近
藤宣之君との出会いもミ
ュンヘン。自分が殺され
は異国でそれを二人も得
た。(ふくだ・ただし 中国電力副社長)